

P20113.P04

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

Applicant :S. YASHIKI

Serial No. :Not Yet Assigned

Filed :Concurrently Herewith

For :INTERNET FACSIMILE SYSTEM

CLAIM OF PRIORITY

Commissioner of Patents and Trademarks
Washington, D.C. 20231

Sir:

Applicant hereby claims the right of priority granted pursuant to 35 U.S.C. 119 based upon Japanese Application No. 2000-170039, filed June 7, 2000. As required by the Statute, a certified copy of the Japanese application is being submitted herewith.

Respectfully submitted,
S. YASHIKI

Leslie J. Bernstein Reg. No. 33,329
Bruce H. Bernstein
Reg. No. 29,027

November 29, 2000
GREENBLUM & BERNSTEIN, P.L.C.
1941 Roland Clarke Place
Reston, VA 20191
(703) 716-1191

#2

JC825 U.S. PTO

09/725127



11/29/00

日 本 国 特 許 庁

PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

JC825 U.S. PTO
09/125127
11/29/00

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application:

2000年 6月 7日

出 願 番 号
Application Number:

特願2000-170039

出 願 人
Applicant (s):

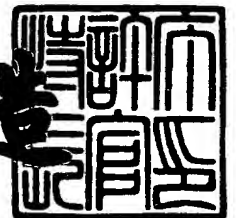
松下電送システム株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2000年 9月22日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2000-3076082

【書類名】 特許願

【整理番号】 2952010199

【提出日】 平成12年 6月 7日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 H04N 1/00

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都目黒区下目黒2丁目3番8号 松下電送システム株式会社内

 【氏名】 矢敷 誠史

【特許出願人】

 【識別番号】 000187736

 【住所又は居所】 東京都目黒区下目黒2丁目3番8号

 【氏名又は名称】 松下電送システム株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100089266

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 大島 陽一

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 047902

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 インターネットファクシミリ装置及びインターネットファクシミリ受信方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 画像メモリがフルであることを判断する判断手段を備え、前記画像メモリがフルであるときには前記画像メモリに記憶された受信データの情報をサーバに転送することを特徴とするインターネットファクシミリ装置。

【請求項 2】 プリンタ部が故障しているとき又は紙切れのときに前記判断手段による判断を実行することを特徴とする請求項 1 に記載のインターネットファクシミリ装置。

【請求項 3】 SMTP プロトコルによるメール受信を行ったときに前記判断手段による判断を実行することを特徴とする請求項 1 に記載のインターネットファクシミリ装置。

【請求項 4】 G3 ファクシミリ受信したときに前記判断手段による判断を実行することを特徴とする請求項 1 に記載のインターネットファクシミリ装置。

【請求項 5】 ファックス受信又は STMP プロトコルによるメール受信した画像データをページ単位に記憶するバッファメモリと、

前記バッファメモリに記憶された前記画像データが転送されて記憶される画像メモリとを備え、

前記画像メモリがフルの状態であるときに受信した前記画像データを前記バッファメモリに記憶し前記画像データをページごとにメールデータに変換して外部のサーバに転送することを特徴とするインターネットファクシミリ装置。

【請求項 6】 画像メモリがフルであることを判断する過程と、

前記画像メモリがフルであるときには前記画像メモリに記憶された受信データの情報をサーバに転送する過程とを有することを特徴とするインターネットファクシミリ受信方法。

【請求項 7】 ファックス受信又は STMP プロトコルによるメール受信した画像データをページ単位にバッファメモリに記憶する第 1 記憶過程と、

画像メモリがフルの状態であるか否かを判断する過程と、

前記画像メモリがフルの状態ではないときに前記バッファメモリに記憶された前記画像データを画像メモリに転送して記憶する第 2 記憶過程と、

前記画像メモリがフルの状態であるときに前記バッファメモリに記憶された前記画像データをページごとにメールデータに変換して外部のサーバに転送する過程とを有することを特徴とするインターネットファクシミリ受信方法。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、インターネットに接続することができるファクシミリ装置に関し、詳しくは、受信したデータをインターネットを介して他の装置に転送するインターネットファクシミリ装置に関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

P O P プロトコルを用いたメール通信では、通信端末が所定時間ごとにメールサーバにアクセスして、自己のユーザ名、パスワード等に基づいて自己宛のメールを抽出して、自己宛のメールを取り出すようにしている。

【 0 0 0 3 】

この場合の通信端末はパソコン又はワークステーションであり、このような通信端末はハードディスクなどの比較的大容量のメモリを搭載しているので、メールを取り出すときにはメール全部を取り出して画面上に表示することができる。

【 0 0 0 4 】

これに対して、近年出現したインターネットファクシミリ装置では、パソコン又はワークステーションとは異なり、その構成上ハードディスクなどの大容量のメモリを搭載していないので、さらに、画面にメールデータを表示するのではなくプリンタからメールデータを印字して出力するので、取り出したメールデータが大容量である場合にそのメールデータを蓄積できずに、また、プリンタが故障して蓄積したメールデータを出力できない場合には次のメールデータを蓄積できずに、ファックス受信ができないといった問題があった。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】

本発明は、上記のようなメモリ容量の不足によるファックス受信ができない状態を解消することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】

上記の目的を達成するために、本発明では、画像メモリがフルであることを判断する判断手段を備え、前記画像メモリがフルであるときには前記画像メモリに記憶された受信データの情報をサーバに転送する。

【0007】

このような構成により、画像メモリがフルの状態のときにファックス受信ができないということが解消される。

【0008】

また、本発明では、プリンタ部が故障しているとき又は紙切れのときに前記判断手段による判断を実行する。

【0009】

このような構成により、プリンタ部の故障等を原因とするファックス受信の不可を解消することができる。

【0010】

また、本発明では、SMTPプロトコルによるメール受信を行ったときに前記判断手段による判断を実行する。

【0011】

このような構成により、SMTPプロトコルによるメール受信をしたときにメモリのフル状態又はプリンタ部の故障によるメール受信の不可を解消することができる。

【0012】

また、本発明では、G3ファクシミリ受信したときに前記判断手段による判断を実行する。

【0013】

このような構成により、G 3 ファクシミリ受信をしたときにメモリのフル状態又はプリンタ部の故障によるファクシミリ受信の不可を解消することができる。

【 0 0 1 4 】

また、本発明では、ファックス受信又はS T M P プロトコルによるメール受信した画像データをページ単位に記憶するバッファメモリと、前記バッファメモリに記憶された前記画像データが転送されて記憶される画像メモリとを備え、前記画像メモリがフルの状態であるときに受信した前記画像データを前記バッファメモリに記憶し前記画像データをページごとにメールデータに変換して外部のサーバに転送する。

【 0 0 1 5 】

このような構成により、ファックス受信又はS T M P プロトコルのメール受信をしたときに、画像メモリがフル状態のためにファックス受信又はメール受信が不可となることが解消される。また、夜間など長時間に亘って画像データがフル状態となることを解消することができる。

【 0 0 1 6 】

また、本発明は、画像メモリがフルであることを判断する過程と、前記画像メモリがフルであるときには前記画像メモリに記憶された受信データの情報をサーバに転送する過程とを有する。

【 0 0 1 7 】

このような構成により、このような構成により、画像メモリがフルの状態のときにファックス受信ができないということが解消される。

【 0 0 1 8 】

また本発明は、ファックス受信又はS T M P プロトコルによるメール受信した画像データをページ単位にバッファメモリに記憶する第 1 記憶過程と、画像メモリがフルの状態であるか否かを判断する過程と、前記画像メモリがフルの状態ではないときに前記バッファメモリに記憶された前記画像データを画像メモリに転送して記憶する第 2 記憶過程と、前記画像メモリがフルの状態であるときに前記バッファメモリに記憶された前記画像データをページごとにメールデータに変換して外部のサーバに転送する過程とを有する。

【0019】

このような構成により、このような構成により、ファックス受信又はSTMPプロトコルのメール受信をしたときに、画像メモリがフル状態のためにファックス受信又はメール受信が不可となることが解消される。また、夜間など長時間に亘って画像データがフル状態となることを解消することができる。

【0020】

【発明の実施の形態】

以下に添付の図面に示された具体例に基づいて本発明の実施の形態について詳細に説明する。

【0021】

図1は、本発明の動作を表した概念図である。図1では、本発明のインターネットファクシミリ装置（以下「IFAX」という）3が、G3ファクシミリ装置（以下「G3FAX」という）1から受信したとき、または、IFAX2からSTMPプロトコル（オンタイムで送られてきたデータを受信するモード）によるメール受信をしたときを表している。このときIFAX3は、プリンタの故障、メモリフル状態、または、メール受信したファイルがTIFFファイルではないなどで記録NGとなる場合には、この受信したデータを管理者パーソナルコンピュータ（以下「管理者PC」という）に転送するか、又はPOPサーバ4へ転送して故障状態から復旧した後にPOP受信によりPOPサーバ4から転送したデータを受信するか、受信したデータをPOPサーバ4を介して他のIFAXへ転送する。

【0022】

図2は、本発明のIFAXが使用されるシステム環境を表す模式図である。図2では、本発明のIFAX21はPSTN（公衆回線網）を介して他のファクシミリ装置29又は30に接続されている。また、IFAX21はLAN27を介して管理者PC23及びメールサーバ24に接続されている。LAN27はインターネット28を介して他のIFAX22及び他のサーバ25に接続されている。

【0023】

図3は、本発明に基づくインターネットファクシミリ装置のブロック図である。CPU31はROM32に記憶されたプログラムに基づきファクシミリ装置の各部を制御する。

【0024】

画像メモリ33は受信されたデータ及び送信されるデータを記憶する。受信されたデータ及び送信されるデータは、図11に模式的に示すように、画像メモリ33内の管理情報としての送信ジョブ及び受信ジョブとして記憶されている。

【0025】

データメモリ34は、画像メモリに記憶されたデータに関する管理情報、登録されたメールアドレス及び電話番号、及び本発明による処理方法に関する情報を記憶している。

【0026】

LANインタフェース(LAN i/f)35は、本発明のインターネットファクシミリ装置とLANとの接続をおこなう部分で、図2に示されたようにLAN27を介したPC23及びメールサーバ24との間のデータの転送は、このLANインタフェース部35を介して行われる。スキャナ部36は、本発明のインターネットファクシミリ装置において原稿からの文字及び画像の読み込みを行う部分である。プリント部37は受信されたデータを印字する部分である。FAX部38は本発明のインターネットファクシミリ装置とPSTNとの接続を行う部分で、図2に示されたようにPSTN26を介した他のファクシミリ装置29及び30との間のデータの送信及び受信または他のIFAX22(通常のファクシミリ装置として用いられている場合)との間のデータの送信及び受信はこのFAX部38を介して行われる。

【0027】

バッファメモリ39はFAX部38で受信されたPSTN26を介した他のファクシミリ装置29及び30又は他のIFAX22(通常のファクシミリ装置として用いられている場合)から受信されたデータを、以下に説明するようLAN27を介して管理者又はPOPサーバ4へ転送する場合に、受信されたデータを変換部40でTIFFファイルに変換する前に一時的に変換記憶する。

【 0 0 2 8 】

変換部 4 0 は、LAN を介した管理者又は POP サーバ 4 へのデータ転送を行う場合に、画像メモリ 3 3 又はバッファメモリ 3 9 に記憶されたデータを T I F F ファイルへ変換する。変換部 4 0 で T I F F ファイルに変換されたデータは、LAN インタフェース部 3 5 から LAN 2 7 を介して転送される。

【 0 0 2 9 】

図 1 2 は、変換部 4 0 で作成される T I F F ファイルの構成を模式的に表している。T I F F ファイルの先頭部分にはヘッダーが配置され、続いて 1 ページのデータ、2 ページのデータ、... というように、各ページのデータが配置されている。各ページのデータは、I F D、L o n g V a l u e s 及びイメージデータからなる。

【 0 0 3 0 】

図 4 は、データメモリ 3 4 の登録メモリの記憶内容を示す図である。「処理方法」とは、以下に説明する本発明の処理方法での設定を示している。具体的な設定は、「1. 何もしない（通信 NG となる）」、「2. 他の I F A X へ転送する」、「3. 管理者 PC へ転送する」、及び「4. POP サーバへ転送する」であり、本発明では、この何れかが選択可能である。

【 0 0 3 1 】

図 4 の「他の I F A X メールアドレス」、「管理者 PC メールアドレス」、及び「POP 用自メールアドレス」には、各々、他の I F A X 2 2 のメールアドレス、管理者 PC 2 3 のメールアドレス、及び POP サーバ 2 4 用の自メールアドレスが記憶されている。

【 0 0 3 2 】

次に図 5 及び図 6 を参照しながら、本発明に基づくインターネットファクシミリ装置でのプリンタの故障又はメモリフル状態のときの処理フローを説明する。

【 0 0 3 3 】

図 5 のステップ 5 1 0 で処理が開始されると、図 2 の P S T N 2 6 を介した他のファクシミリ装置 2 9 及び 3 0 又は他の I F A X 2 2 （通常のファクシミリ装置として用いられている場合）からの G 3 ファックスの受信データが受け付けら

れる（ステップ520）。

【0034】

ステップ530では、本発明のインターネットファクシミリ装置が受信データを記録できる状態か否かを判定し、記録できる状態の場合はステップ540に進み、記録できる状態でない場合には、ステップ550に進む。ここで記録できる状態でない場合として、図3のプリンタ部37に接続されたプリンタの故障または用紙切れ、装置の送信中、及び図3の画像メモリ33のフル状態があげられる。

【0035】

ステップ540では、G3ファックスの受信データをプリント処理（印字）して、図6のステップ660に進んで処理が終了する。

【0036】

ステップ550では、受信データを記録できない場合の処理方法を、図4の処理方法テーブルから取り込む。ステップ560では、ステップ550で取り込んだ処理方法が「何もしない（通信NGとなる）」か否かを判定し、「何もしない」の場合には、ステップ570に進み、それ以外の処理方法の場合には図6のステップ610に進む。

【0037】

ステップ570では、処理方法に基づいて何もせずにG3通信の終了処理が行われ、図6のステップ660に進んで処理が終了する。

【0038】

図6のステップ610では、ステップ550で取り込んだ処理方法に基づいて図4の転送先アドレスである「他IFAXメールアドレス」、「管理者PCメールアドレス」及び「POP用自メールアドレス」のいずれか1つを獲得する。

【0039】

ステップ620では図2のメールサーバ25に接続する。ステップ630では、G3受信データの1ページを図3のFAX部38を介して受信し（ステップ631）、この1ページのデータを図3のバッファメモリ39に記憶し（ステップ632）、バッファメモリ39に記憶されたデータを変換部40でTIFFファ

イルに変換して（ステップ633）、1ページ分のT I F FファイルをL A N インタフェース35からメールサーバ25に送信する（ステップ634）。次に、最終ページか否かを判定して（ステップ635）、最終ページとなるまでステップ635-631-632-633-634-635のループを繰り返すことにより、ステップ610で獲得されたアドレス先に、即ち図2の「他のI F A X 2 2」、「管理者P C 2 3」及び「P O Pサーバ24」のいずれか1つに、G3受信データをS M T Pプロトコルで転送する。ステップ635で最終ページと判定された場合、ステップ640に進みG3通信終了処理を行い、続いてステップ650でメールサーバ25との切断処理を行い、ステップ660で処理が終了する。

【0040】

次に図7及び図8を参照しながら、本発明に基づくインターネットファクシミリ装置での、受信したメールがT I F Fファイルでないとき又はメモリアル状態のときの処理フローを説明する。

【0041】

図6のステップ710で処理が開始されると、図2のインターネット28を介した他のI F A X 2 2（インターネットファクシミリ装置として用いられている場合）からのS M T Pプロトコル（オンタイムで送られてきたデータを受信するモード）に受信データが受け付けられる（ステップ720）。

【0042】

ステップ730では、本発明のインターネットファクシミリ装置が受信データを記録できる状態か否かを判定し、本発明の装置が記録できる状態の場合にはステップ740に進み、本発明の装置が記録できる状態ではない場合には、ステップ750に進む。ここで記録できる状態でない場合として、図3のプリンタ部37に接続されたプリンタの故障または用紙切れ、装置の送信中、及び図3の画像メモリ33のフル状態があげられる。

【0043】

ステップ740では、I F A Xの受信データをプリント処理（印字）して、図8のステップ860に進んで処理が終了する。

【0044】

ステップ750では、受信データを記録できない場合の処理方法を、図4の処理方法テーブルから取り込む。ステップ760では、ステップ750で取り込んだ処理方法が「何もしない（通信NGとなる）」か否かを判定し、「何もしない」の場合には、ステップ770に進み、それ以外の処理方法の場合には図8のステップ810に進む。

【0045】

図7のステップ770では、処理方法に基づいて何もせずにIFAX通信の終了処理が行われ、図8のステップ860に進んで処理が終了する。

【0046】

図8のステップ810では、ステップ750で取り込んだ処理方法に基づいて図4の転送先アドレスである「他IFAXメールアドレス」、「管理者PCメールアドレス」及び「POP用自メールアドレス」のいずれか1つを獲得する。

【0047】

ステップ820では図2のメールサーバ25に接続する。ステップ830では、IFAX受信データの1バッファを図3のLANインターフェース35を介して受信し（ステップ831）、この1バッファのデータを図3のバッファメモリ39に記憶し（ステップ832）、バッファメモリ39に記憶されたデータをLANインターフェース35からメールサーバ25に送信する（ステップ833）。次に、最終ページか否かを判定して（ステップ834）、最終ページとなるまでステップ834-831-832-833-834のループを繰り返すことにより、ステップ810で獲得されたアドレス先に、即ち図2の「他のIFAX22」、「管理者PC23」及び「POPサーバ24」のいずれか1つに、IFAX受信データをSMTPプロトコルで転送する。ステップ834で最終ページと判定された場合、ステップ840に進みIFAX通信終了処理を行い、続いてステップ850でメールサーバ25との切断処理を行い、ステップ860で処理が終了する。

【0048】

次に図9及び図10を参照しながら、図3の画像メモリ33のフル状態が続い

た場合の処理を説明する。この処理は、例えば夜間にプリンタが故障して受信したデータがプリントアウトできないために、一定時間以上が経過しても画像メモリに記憶されたデータが減らないときのために行われる。

【 0 0 4 9 】

図 9 のステップ 9 1 0 で処理が開始されると、ステップ 9 1 5 に進んでこの処理のリセットがされたか否かが判定される。リセットがされた場合はステップ 9 7 0 に進んでこの処理が終了する。リセットがされていない場合はステップ 9 2 0 に進む。

【 0 0 5 0 】

ステップ 9 2 0 では、図 3 の画像メモリ 3 3 がフル状態化否かが判定され、フル状態の場合にはステップ 9 3 0 に進む。フル状態でない場合にはステップ 9 1 5 に進み、ステップ 9 1 5 でリセットされていると判定されず、かつステップ 9 2 0 でメモリがフル状態であると判定されない限り、ステップ 9 2 0 - 9 1 5 - 9 2 0 のループが続く。

【 0 0 5 1 】

ステップ 9 3 0 では、メモリがフルの状態で所定の時間が経過したか否かが判定され、所定時間が経過している場合にはステップ 9 4 0 に進む。所定時間が経過していない場合には、ステップ 9 1 5 に進み、以下ステップ 9 3 0 で所定時間が経過したと判定されるまで、ステップ 9 3 0 - 9 1 5 - 9 2 0 - 9 3 0 のループが繰り返される。

【 0 0 5 2 】

ステップ 9 4 0 では、図 4 の処理方法テーブルより処理方法を取り込む。この処理の場合、図 4 の処理方法のうち「1. 何もしない（通信 N G となる）」を取り出すことはない。

【 0 0 5 3 】

ステップ 9 5 0 では、図 1 1 に示された図 3 の画像メモリに記憶されたジョブのうち受信ジョブがあるか否かが判定され、受信ジョブがある場合にはステップ 9 6 0 に進む。受信ジョブがない場合にはステップ 9 1 5 に進み、以下ステップ 9 1 5 でリセットされたと判定されない限りステップ 9 5 0 で受信ジョブがある

と判定されるまで、ステップ950-915-920-930-940-950のループが繰り返される。

【0054】

ステップ960では、画像メモリ33に記憶されている受信ジョブの1つを抽出する。

【0055】

図10のステップ1010では、図9のステップ940で取り出された処理方法に基づき図4の転送先アドレス「他IFAXメールアドレス」、「管理者PCメールアドレス」及び「POP用自メールアドレス」のうちのいずれか1つを獲得する。ステップ1020では、図2のメールサーバ25に接続する。

【0056】

ステップ1030では、選択された1つの受信ジョブの1つのバッファを図3の変換部40でTIFFファイルに変換し、ステップ1040では、1つのバッファのTIFFファイルを図3のLANインタフェース35を介して図2のメールサーバ25に送信する。

【0057】

ステップ1045では、ステップ1040で送信されたバッファが最終バッファか否かを判定し、最終バッファの場合にはステップ1050に進む。最終バッファでない場合にはステップ1030に進み、以下ステップ1045で最終バッファと判定されるまで、ステップ1045-1030-1040-1045のループが繰り返される。

【0058】

ステップ1045からステップ1050に進んだところで、1つの受信ジョブの全てのバッファの送信が完了している。ステップ1050では送信の完了した受信ジョブが最終の受信ジョブか否かを判定され、最終の受信ジョブの場合にはステップ1060に進む。最終の受信ジョブでない場合には、ステップ960に進み、以下ステップ1050で最終の受信ジョブであると判定されるまで、ステップ1050-960-1010-1020-1030-1040-1045-1050のループが繰り返される。

【 0 0 5 9 】

ステップ 1 0 5 0 からステップ 1 0 6 0 に進んだところで、全ての受信ジョブの送信が完了している。

【 0 0 6 0 】

ステップ 1 0 6 0 では、データ転送終了の処理が行われ、ステップ 1 0 7 0 でサーバからの切断が行われる。ステップ 1 0 7 0 の後はステップ 9 1 5 に進み、リセットがされている場合には、ステップ 9 7 0 に進んでこの処理が終了する。

【 0 0 6 1 】

【発明の効果】

本発明によれば、メモリ容量の不足によるファックス受信ができない状態を解消することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の概念図。

【図 2】

本発明を含むネットワークを表した模式図。

【図 3】

本発明に基づくインターネットファクシミリ装置の構成ブロック図。

【図 4】

本発明の登録メモリの記憶内容を表す模式図。

【図 5】

プリンタの故障又はメモリフル状態のときの本発明に基づく処理を表すフロー図。

【図 6】

プリンタの故障又はメモリフル状態のときの本発明に基づく処理を表すフロー図。

【図 7】

受信したメールが T I F F ファイルでないとき又はメモリフル状態の時の本発明に基づく処理を表すフローを表す図。

【図 8】

受信したメールが T I F F ファイルでないとき又はメモリフル状態の時の本発明に基づく処理を表すフローを表す図。

【図 9】

画像メモリのメモリフル状態が続いた場合の本発明に基づく処理を表すフロー図。

【図 10】

画像メモリのメモリフル状態が続いた場合の本発明に基づく処理を表すフロー図。

【図 11】

画像メモリに記憶されたデータの管理情報と記憶されたデータとの関係を表す模式図。

【図 12】

変換部によって作成される T I F F ファイルの構成を表す模式図

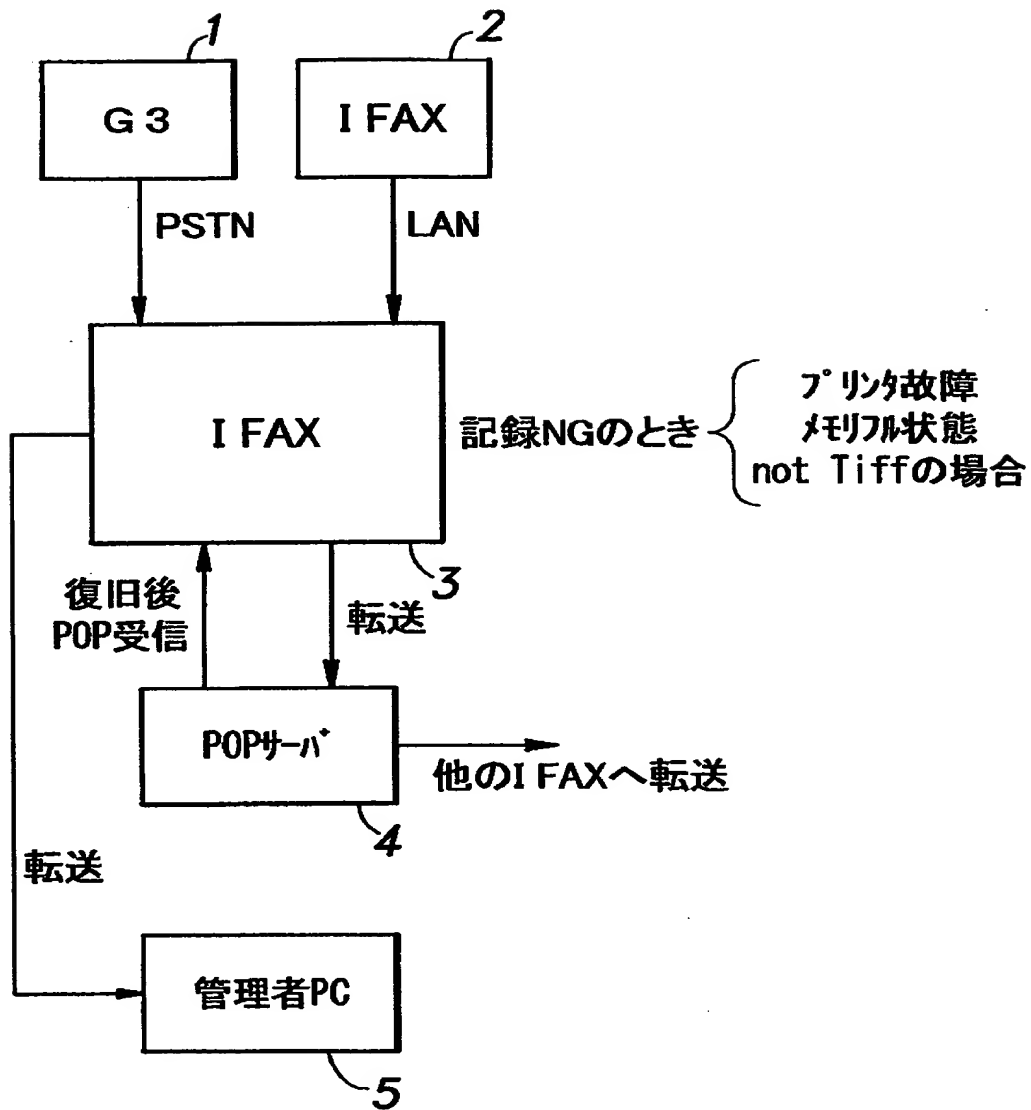
【符号の説明】

- 1 G3ファクシミリ装置
- 2 他のインターネットファクシミリ装置
- 3 本発明のインターネットファクシミリ装置
- 4 POP用サーバ
- 5 管理者PC
- 21 本発明のインターネットファクシミリ装置
- 22 他のインターネットファクシミリ装置
- 23 管理者PC
- 24 POP用サーバ
- 25 メールサーバ
- 26 公衆回線網 (PSTN)
- 27 LAN
- 28 インターネット
- 29 G3ファクシミリ装置

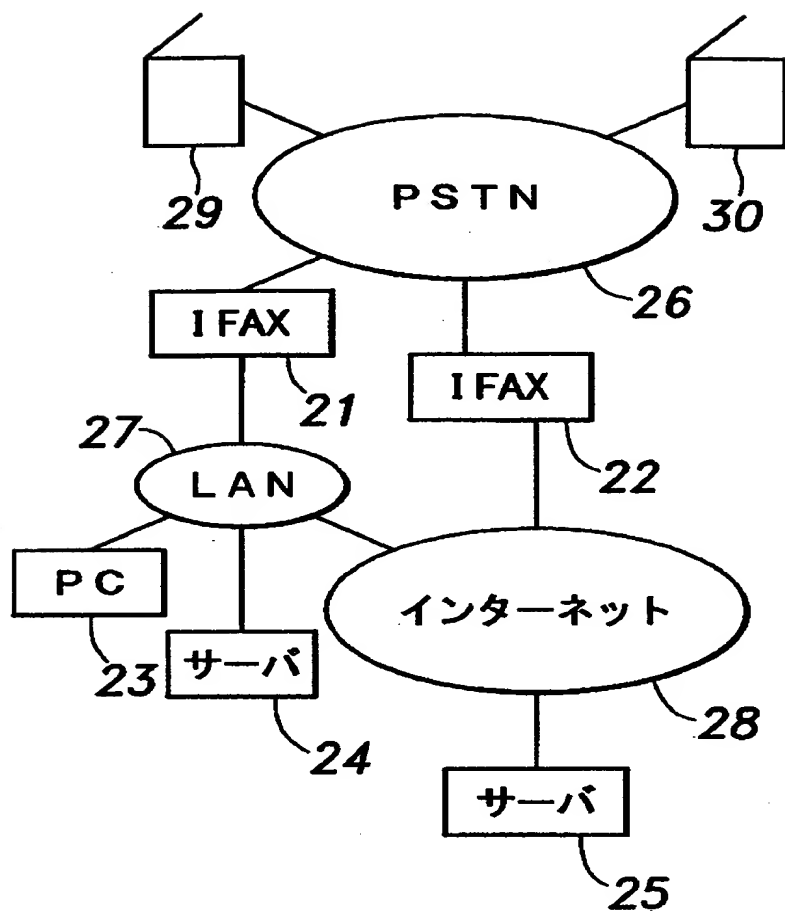
- 30 G3ファクシミリ装置
- 31 CPU
- 32 ROM
- 33 画像メモリ
- 34 データメモリ
- 35 LANインタフェース
- 36 スキャナ部
- 37 プリント部
- 38 FAX部
- 39 バッファメモリ
- 40 変換部

【書類名】 図面

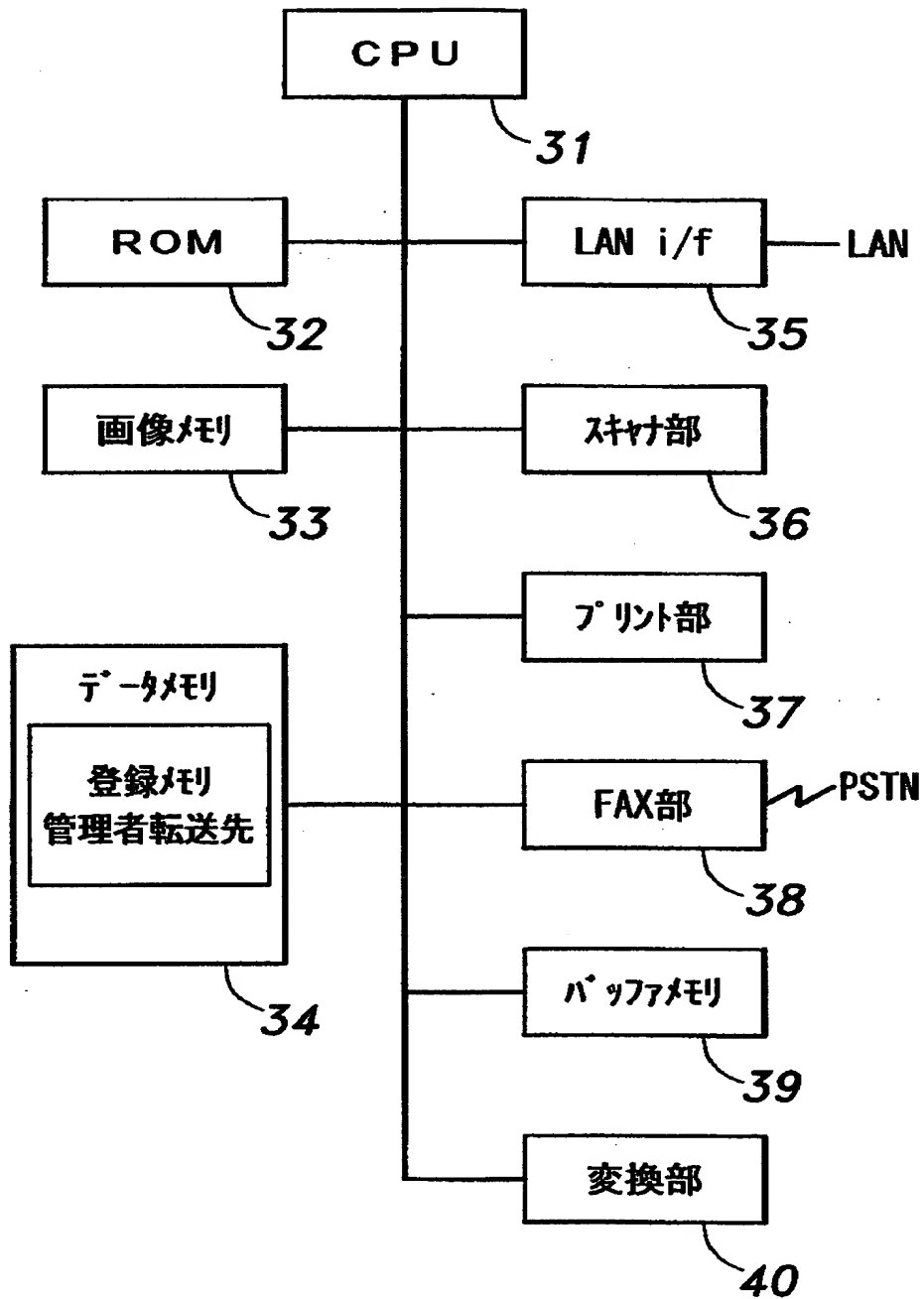
【図1】



【図2】



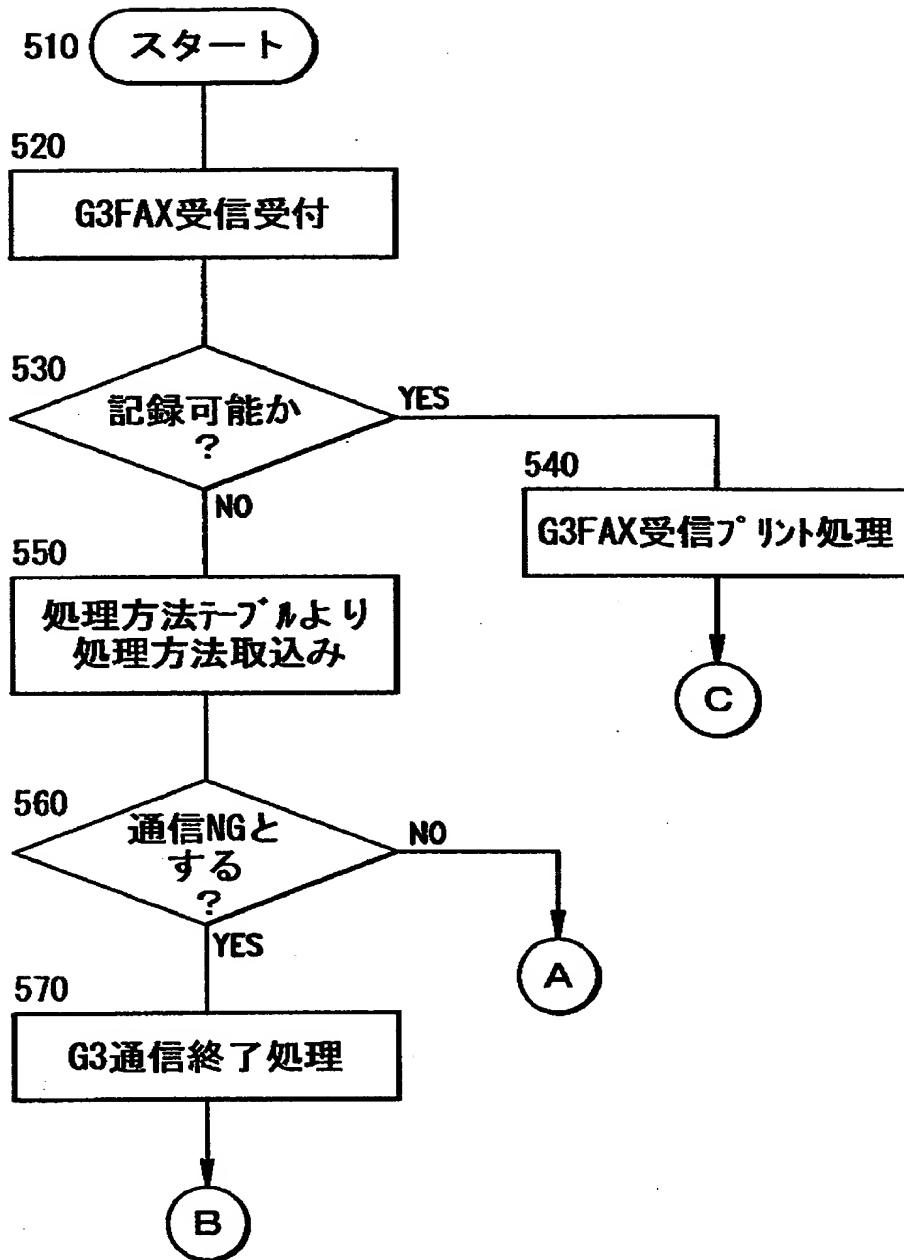
【図3】



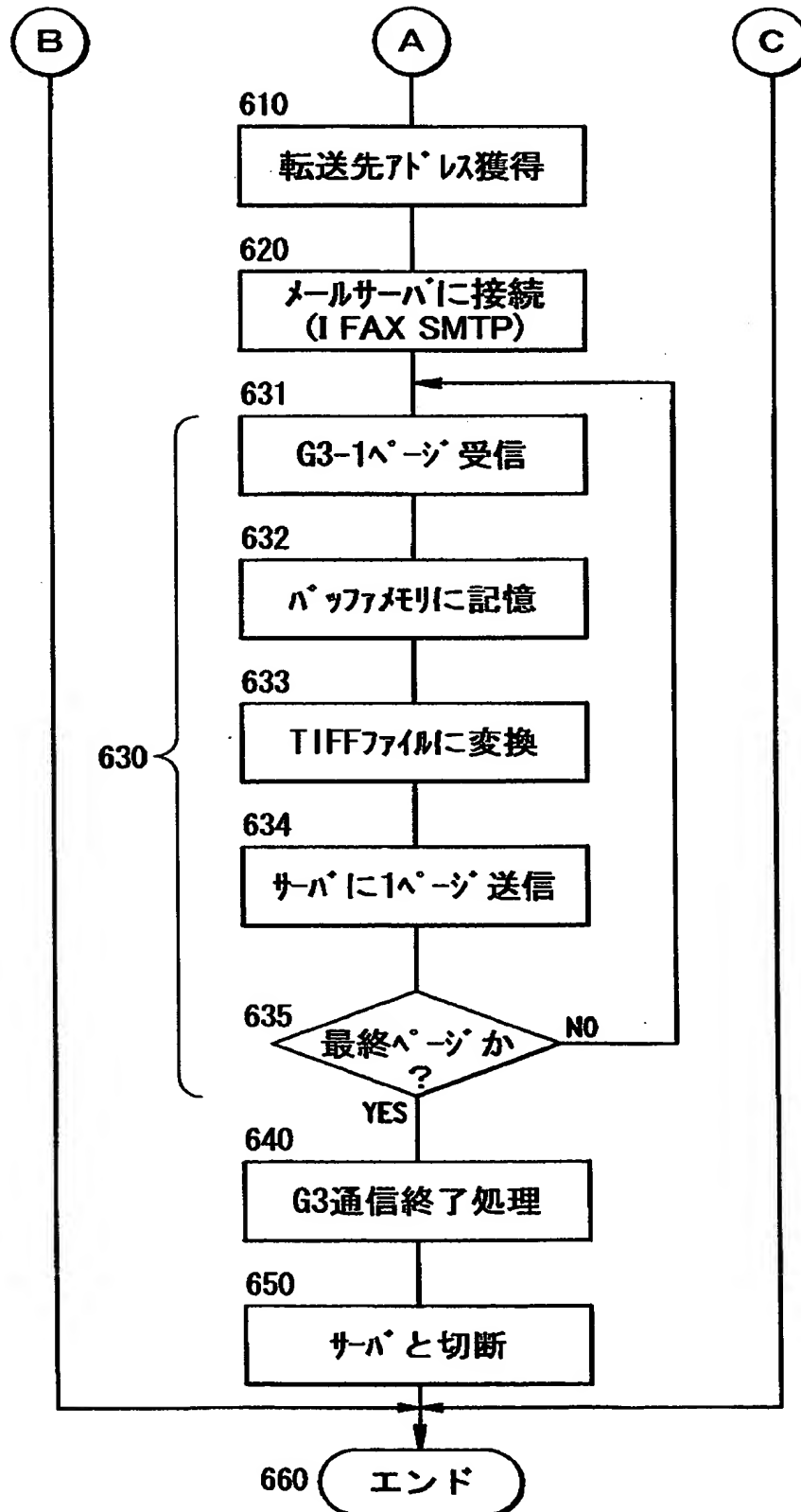
【図4】

| | |
|----------------------|---|
| 処理方法 | 1:何もしない(通信NGとなる) 2:他のI FAXへ転送する 3:管理者PCへ転送する 4:POPサーバへ転送する |
| 他I FAXメールアドレス | ifax11@aaa.bbb.co.jp |
| 管理者PCメールアドレス | kanri@aaa.bbb.co.jp |
| POP用自メールアドレス | myifax@aaa.bbb.co.jp |

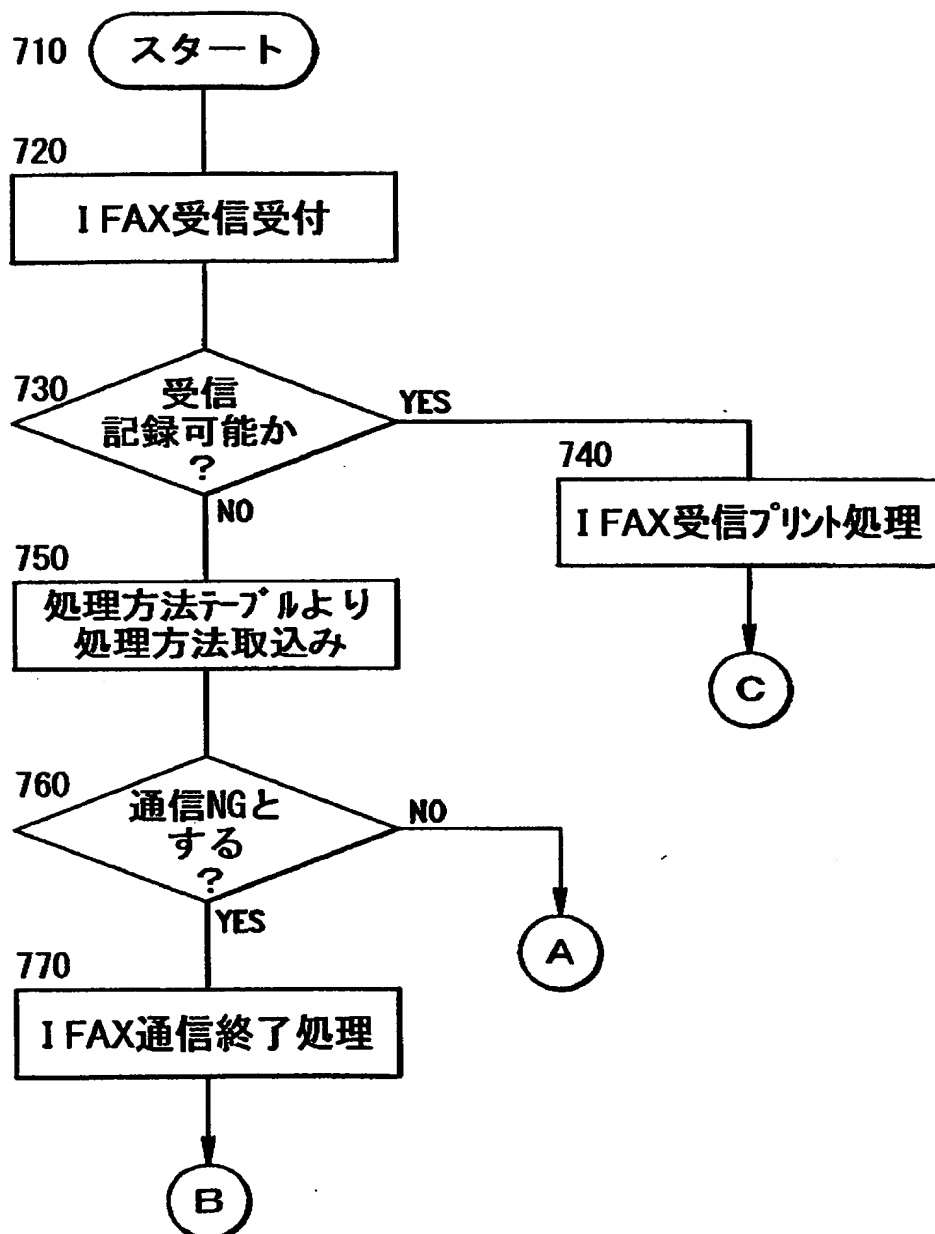
【図 5】



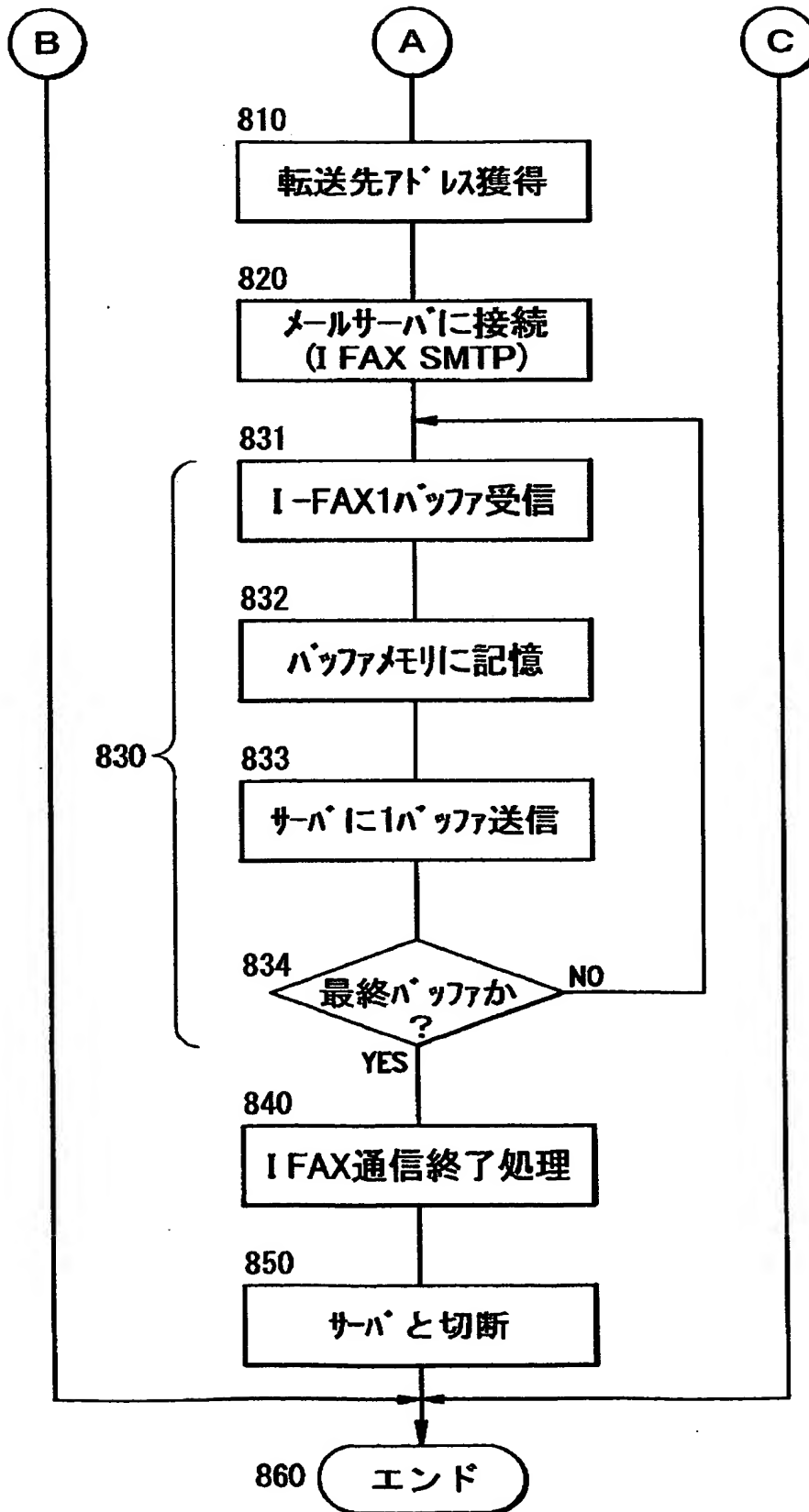
【図 6】



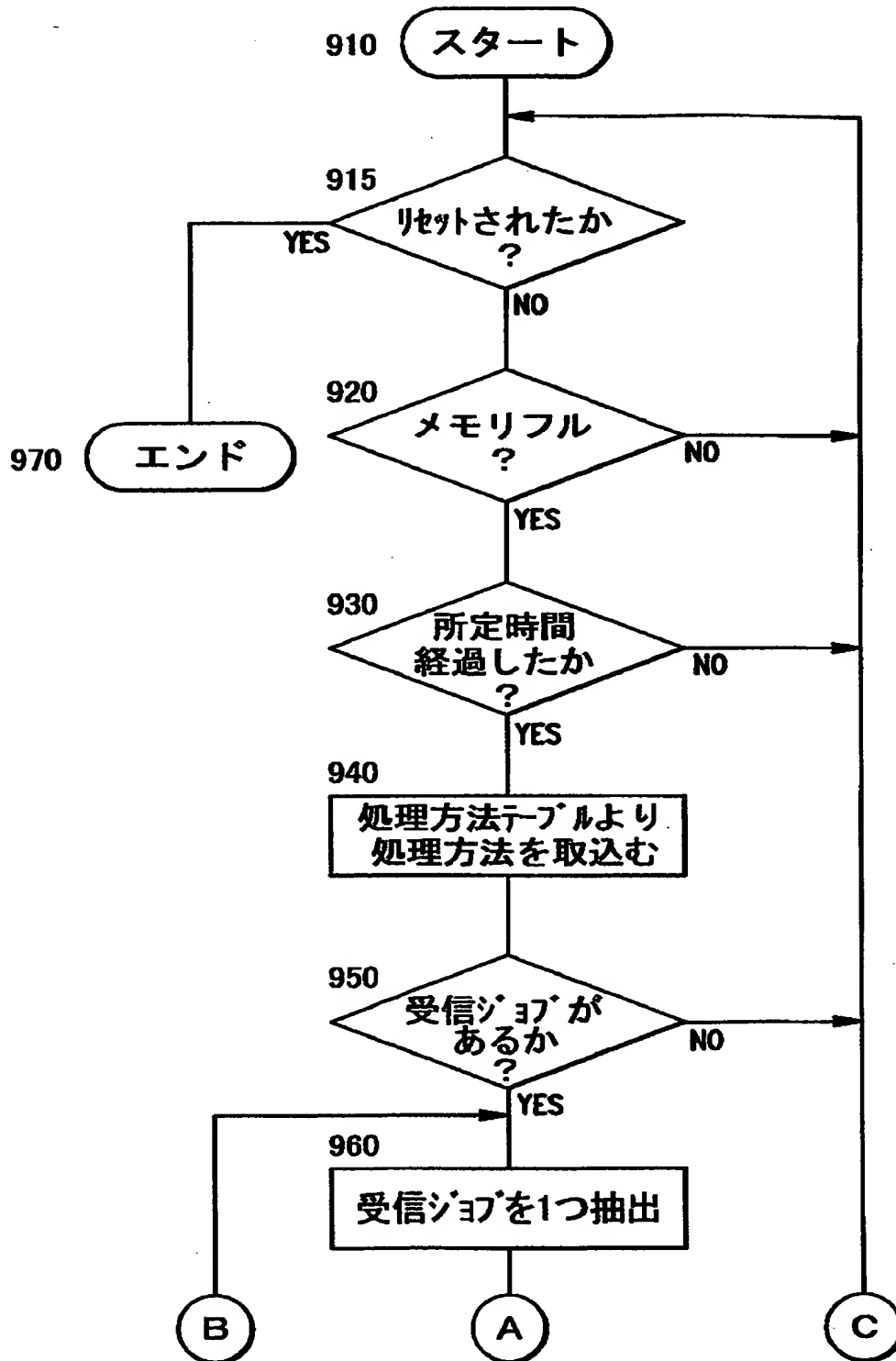
【図 7】



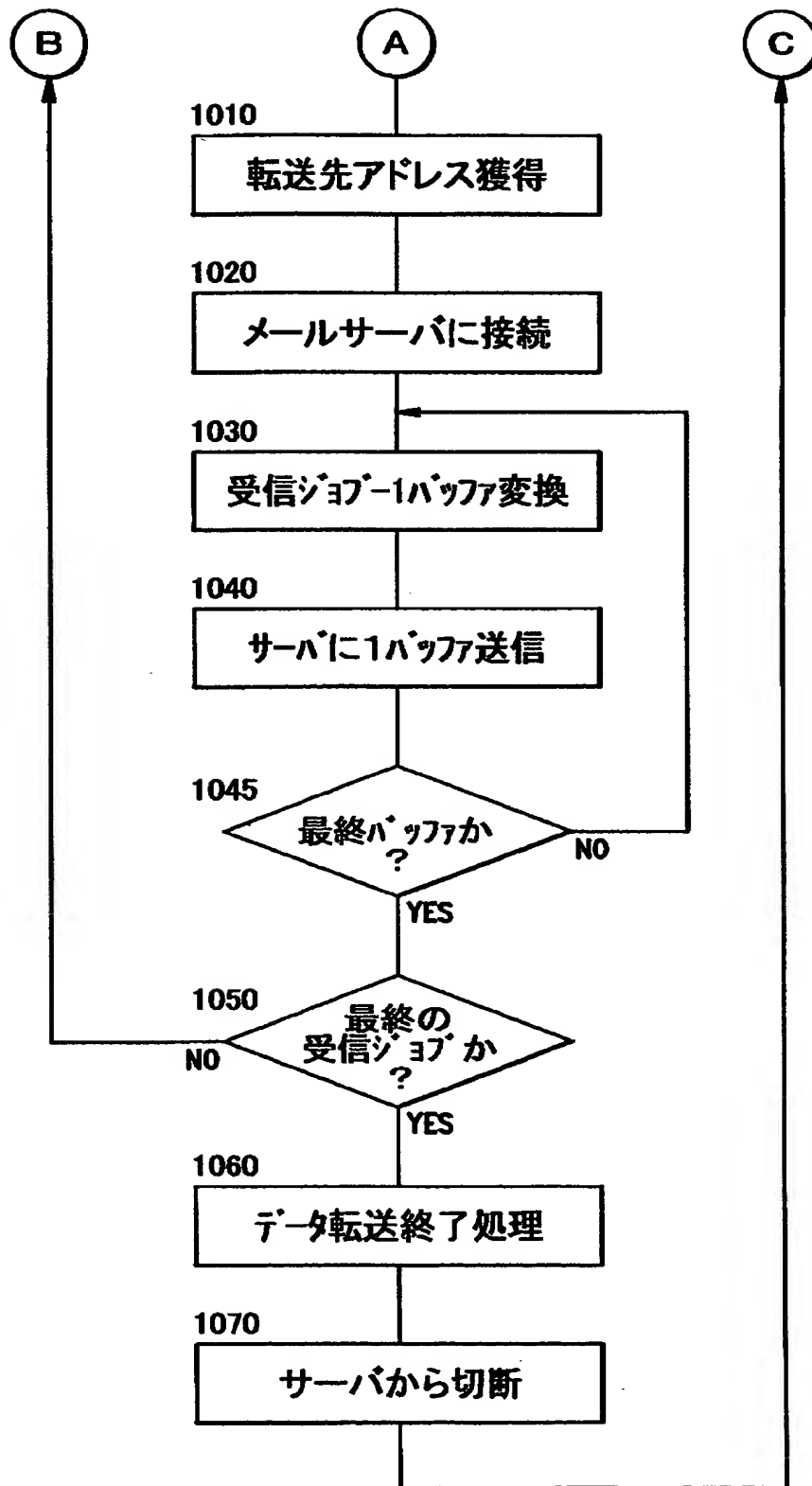
【図 8】



【図9】

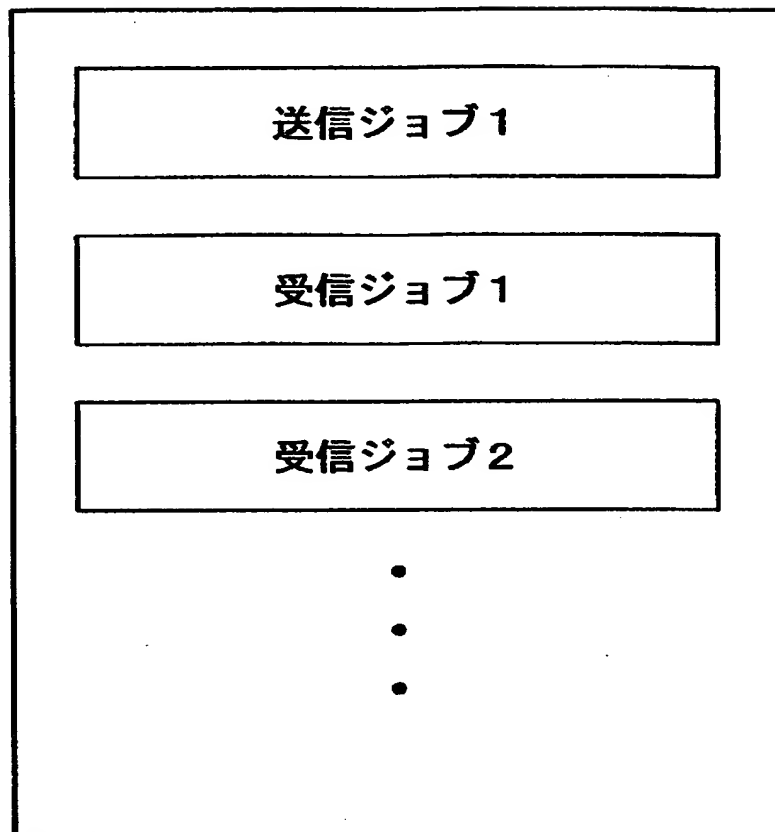


【図10】

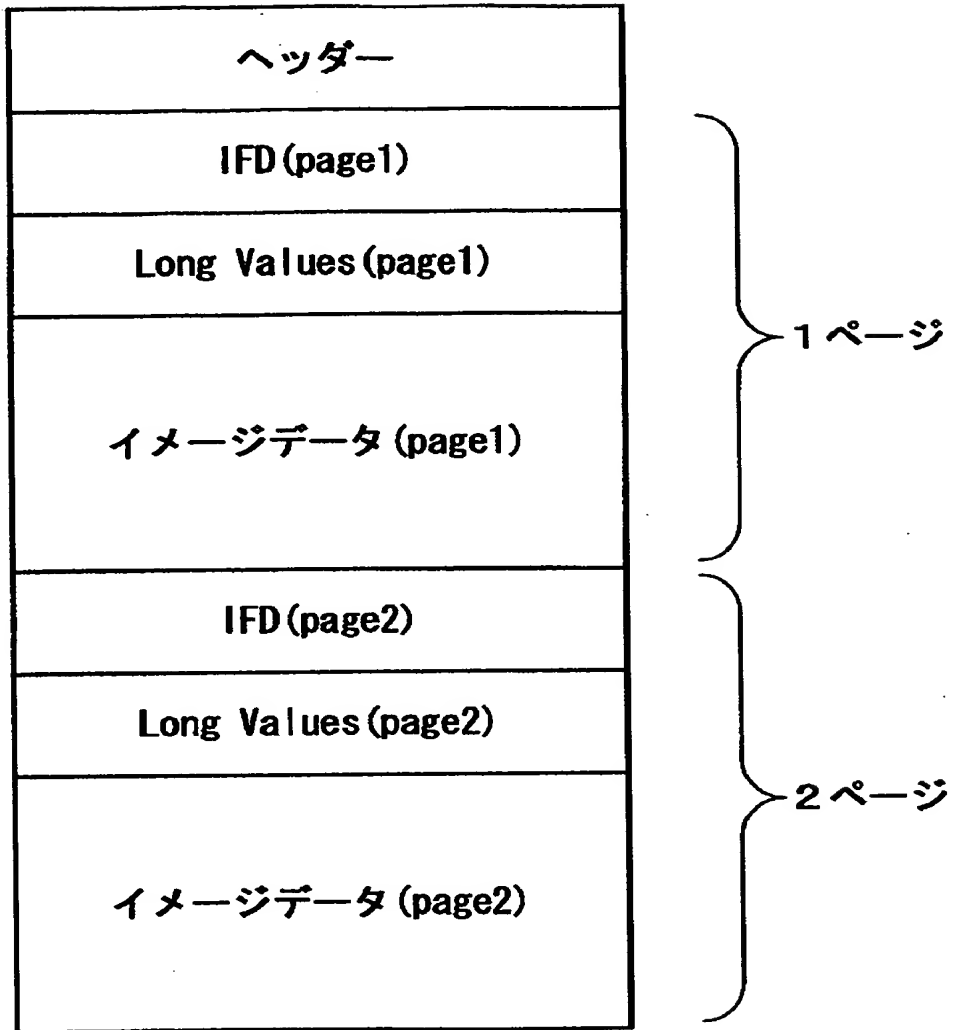


【図 11】

管理情報



【図 12】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 メモリ容量の不足によるファックス受信ができない状態を解消することを目的とする。

【解決手段】 画像メモリ（33）がフルであることを判断する判断手段（31）を備え、前記画像メモリ（33）がフルであるときには前記画像メモリ（33）に記憶された受信データの情報をサーバに転送する。

【選択図】 図3

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000187736]

1. 変更年月日 1998年 4月13日

[変更理由] 名称変更

住 所 東京都目黒区下目黒2丁目3番8号

氏 名 松下電送システム株式会社